

コラム⑦ 地域で声かけ ～困っている人、いつもと様子が違う人を見かけたら～



あなたの声かけが
命を救うことがあります

気候や場所に合わない服装や
汚れた格好をしている。
(冬に薄着、夏に厚着、裸足など)

道路の縁石などに、
長い時間座り込んでいる。

ウロウロ、キョロキョロ、
ソワソワと困っている
様子をしている。

地域で見かけない
高齢者がいる。

声かけの流れ

声かけのコツ

・3つの「ない」

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない

・7つのポイント

- ①まずは見守る
- ②余裕をもって対応する
- ③声をかけるときは一人で
- ④後ろから声をかけない
- ⑤やさしい口調で
- ⑥おだやかに、
はっきりした話し方で
- ⑦相手の言葉に
耳を傾けて、
ゆっくり対応する

体調が悪そうなら

119番（救急対応）

手がかりがなければ

110番（警察へ）

手がかりがあったら

・「見守りキーホルダーがあった場合」

キーホルダーに書かれたおとしより相談センターに電話
(月～土曜 午前9時～午後5時、日曜祝日年末年始休み)
または、警察署・消防署に届けて、キーホルダーの存在を伝える。
(警察がキーホルダーをみて、事前登録された緊急連絡先に
連絡をする可能性があります)



・「洋服や持ち物に緊急連絡先などが書かれていた場合」

本人の了解を得て、緊急連絡先などに連絡をする。



・「その他の手がかりがあった場合」

緊急連絡先などがわかる場合は、本人の了解を得て、連絡をする。
直接的にわからない手がかりは見つけたことを警察に伝える。
(手帳、スマホなど)